

新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。

三好病院の新棟が完成して、はや3年が過ぎました。その間、職員は様々な変革に努力してまいりました。そして、まだまだ不十分ながらも、ひとつの方向性は見いだせたように感じています。

平成29年1月、病院理念を職員投票によって策定致しました。「誠実で信頼される病院となる。」「衣食住」が「医職住」に変わったと言われる昨今、医療は地域作りの基本であると言われていています。「今こそ誠実さで地域の信頼をえて地域を支えたい」との、職員一同の思いが結晶しました。

3月、「初期臨床研修病院」に指定されました。全国の地方病院が医師不足にあえぐ中、三好病院にとっても医師不足は大きな課題です。「それならば『地域マインド』をもった研修医を自分たちで育てよう」。そんな思いでこの3年間努力してまいりました。プログラムでは、当院と同様、山間部に囲まれた盆地にある諏訪中央病院とも連携させて戴くことができました。今後も魅力あるプログラム創りで、研修医に選んでもらえる病院創りを進めます。

6月、救急専門医が2名体制となりました。西部圏域で唯一の救命救急センターを守り人材育成できる病院を創るため、徳島県病院局と徳島県立中央病院にご協力を戴きました。都市型だけでなく地域特有の救急も理解できる救急医を、三好の地から育ててゆきたいと思っています。

8月、「三好病院連」が23年ぶりに復活しました。職員一同で準備し、待ちにまついたいけだ阿波おどりの最終日は、汗と感動の渦に飲み込まれました。「三好病院連」はこれからも毎年、池田の町に踊り込みます。

9月、三好市、地域包括支援センターとともに「オレンジカフェ」を開催しました。これは一昨年の「院内デイケア・さぎそう」開設に続く、高齢者ケア対策の一環です。三好病院では65才以上の入院患者さんが7割以上を占めています。この地域において、認知症を含めた高齢者のより良いケアが、今後ますます重要になることは言うまでもありません。摂食嚥下対策や訪問看護へのサポートも含め、地域に開かれたケアを進めてゆきます。

そして平成30年、今年は「小児医療」にも力を入れます。2月の徳島大学小児科・香美(かがみ)教授のご講演を皮切りに、いくつかのご講演やシンポジウム・ワークショップを予定しています。また、秋の市民公開講座には「がん」を特集する予定です。これからも地域に必要な医療を、地域と一緒に求めてゆきたいと思ひます。

本年も、三好病院をよろしくお願い申し上げます。

徳島県立三好病院

院長 住友 正幸

今号の内容

- ◆市民公開講座
『認知症 ～医療の限界、ケアの可能性～』
- ◆四国電力防災研修に参加して
- ◆病院ボランティアについて
- ◆私たちの仕事紹介



市民公開講座『認知症 ～医療の限界、ケアの可能性～』

今年度3回目の「徳島県立三好病院市民公開講座」を平成29年11月12日(日)に三好病院 外来棟2階多目的ホールにおいて開催しました。

「認知症 ～医療に限界、ケアの可能性～」と題して、敦賀温泉病院(福井県敦賀市)、社会福祉法人口ザリオの聖母会 海上寮療養所(千葉県旭市)、千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 特任准教授 上野 秀樹 先生にご講演をいただきました。

上野先生は、訪問精神科医としても活躍され、認知症の医学的なお話から、認知症になっても生きいきと幸せに暮らせるための社会のありかたを教えてくださいました。

認知症とは、『一旦正常に発達した知的機能が低下してしまい、物忘れや自分の周囲の状況がわからない、理解や判断力の低下があるために、日常生活、社会生活に支障を来している状態』です。

65歳以上の4人に1人が認知症か、もしくはその予備群といわれています。しかし、認知症を恐れなくても上手いきません。むしろ**周囲との人間関係を維持していく事が大切です**。人から必要とされている場所があること、自分が役に立つという体験が出来る環境があることが生きがいや生きる意味のある生活となり、幸せに暮らせるポイントです。

一人ひとり皆「代わり」のきかないかけがえのない人です。「信頼」や「お互い様」の心を普段から持つようにすることで住みやすい場所になるでしょう。

今後も、皆様のご意見やご感想をいただき、わかりやすく役に立つ講座を開催していきたいと考えています。市民の皆様、ご参加いただき誠にありがとうございました。



認知症予防のためのひと工夫

趣味を持ちましょう

仲間を作って楽しく遊みましょう



裁縫や編み物



書道や俳句



カラオケ



有酸素運動も効果的



いろいろな社会活動

四国電力防災研修に参加して

～ 出前・防災研修 ～

四国電力池田支店様からご依頼をいただき、平成29年11月10日(金)に開催された防災研修に救急看護認定看護師ほか2名が参加しました。この防災研修には、4年前から参加させていただいており、ハチ刺されやヘビに咬まれた際の対応や、骨折時の応急処置、腹部突き上げ法による窒息解除など、毎年テーマを変えて実施してきました。

今回は、まず、「どのような受傷をしても最悪の場合、心肺蘇生が必要な可能性がある」ということで、蘇生人形とAEDを用いた一次救命処置の実習を行いました。続いて、万が一の際に役立つアイテムとして、『新聞スリッパ』の作り方を紹介し、実際に、障害物の上を素足と自分で作った新聞スリッパで歩き比べてその有効性を確認していただきました。最後に場所を移し、避難用具を用いた階段での避難を体験していただきました。職員の方は、真剣に、そして楽しみながら研修に参加されており、防災意識の高さが伺われました。



心肺蘇生とAEDによる一次救命処置



『新聞スリッパ』の作成



避難用具を用いた階段での避難

100円ショップで調達可能な防災グッズ

情報	携帯充電器
栄養・水	非常時用食事(おかゆなど)、水、非常用給水バック ラップ、紙コップ/箸/スプーン
排泄	携帯用トイレ、トイレの凝固剤
安全	ライト、軍手、笛、ロープ、緊急用ハンマー
生活	カイロ、冷熱遮断シート、レインコート、ポリ袋、サブバック スリッパ、ライター、電池、油性ペン、ガムテープ、衣類
清潔・衛生	歯ブラシ、圧縮タオル、ポケットティッシュ、ウェットティッシュ 三角巾 【救急箱】 爪切り、ハサミ、耳かき、毛抜き、ピンセット、伸縮包帯 キズテープ、個別包装タイプの綿棒、消毒スプレー



- ※ 食事・水は長期保存用ではないので賞味期限に従って入れ替える必要あり
- ※ ライトが点くか、電池の液漏れがないかなど定期的に点検しておきましょう

三好病院『病院ボランティア』について

三好病院では、患者さんや来院される方々に少しでも快適な環境で過ごしてもらえるよう、病院ボランティアの方々がサポートしてくれています。

現在、コーラス・フルート・オカリナの音楽演奏や、お笑い、アロマセラピー、緩和ケア病棟でのお茶会の手伝い、生け花・俳句・絵画等の作品の展示により、入院患者さんや来院される方々に元気な気持ちや癒やしを与えてくださっています。また、7階屋上庭園の手入れ、花壇の花植え、医師公舎周辺の清掃活動などの環境美化もお手伝いしてくださっています。多くのボランティアさんが三好病院を支えてくださり、大変感謝しています。いつもありがとうございます。

また、年に1回、三好病院職員とボランティアの方々と一緒に「ボランティア交流会」を開催し、日頃の感謝を含めて院長から感謝状を贈呈したり、意見交換をしたりしてボランティア活動の活性化を図っています。今年度は、院内で「ボランティア紹介展示・発表会」を開催し、当院でのボランティア活動をPRしていただきました。

このように、三好病院はたくさんのボランティアさんの優しいお気持ちで支えられていますので、当院に来院される多くの方が安らぎを感じていただければ幸いです。

本誌の次号より、当院のボランティアの方々の活動を随時紹介する予定です。

〈病院ボランティアとは?〉

病院内で医師、看護師その他の職員と協力して、患者さんが少しでも良い環境のもとで安心して治療を受けることができるよう、自発的にサービスを提供する人のことをいいます。

【活動ボランティア：個人17名、9団体（2017年12月末現在）】

ボランティアを募集しています

三好病院では、病院ボランティアを随時募集しています。詳しくは当院ホームページをご覧ください。当院事務局ボランティア担当まで、お気軽にお問い合わせください。（特に、外来フロアの案内や、「院内デイケアさぎそう」のお手伝いをいただけるボランティアの方を募集しています。）



（緩和ケア病棟イベントでのコーラス演奏）



（ボランティア交流会）

以上、三好病院ボランティア委員会より

私たちの仕事 その2

放射線技術科

現在、放射線技術科は国家資格をもった診療放射線技師10名、受付クラーク1名の体制で、画像検査、放射線治療などの業務を担当しています。

基本理念のもと、被ばく低減に配慮しながら、診断価値の高い画像を迅速に医師へ提供し、患者さんの病気の診断・治療に役立てるよう日々努めています。



～県立三好病院基本理念～

『誠実』で『信頼』される病院となる

〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2
TEL 0883-72-1131 FAX 0883-72-6910
発行 徳島県立三好病院 広報委員会

臨時看護師募集

随時募集しています。詳しくは当院ホームページをご覧ください。
<http://www.miyoshi-hosp.jp>

ご意見・ご要望がございましたら、ホームページ、または院内ご意見箱までお願いします。
広報バックナンバーは、ホームページ <http://www.miyoshi-hosp.jp> にてご覧になれます。

平成30年1月発行